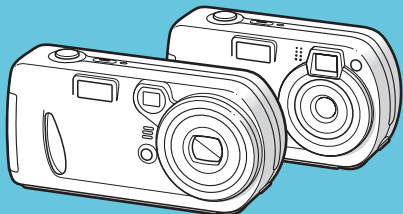
SONY

3-080-877-01 (1)

取扱説明書

サイバーショット基本編

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」、「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」もご覧ください。

DSC-P32/P72

こんなことができます

静止画を撮る

→ 19～31ページ

パソコンに取り込んで見る

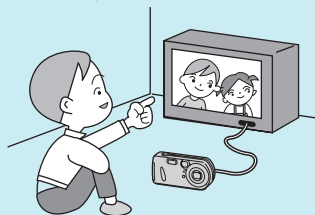
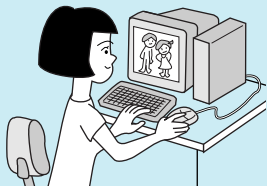
→ 40～56ページ

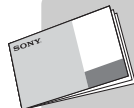
静止画を見る

→ 32～34ページ

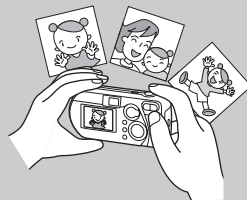
液晶画面で見る

→ 32～33ページ

テレビで見る

→ 34ページ

Eメールに添付して送る

→ 別冊応用編 16ページ

別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」

いろいろな静止画の撮影／再生／編集

→ 7～31ページ

動画を撮る／見る

→ 32～37ページ

困ったときは → 50～62ページ

目次

準備する

静止画を撮る

静止画を見る

静止画を削除する

静止画をパソコンに取り込む

索引

別冊の「サイバーショット応用編／困ったときは」について

「サイバーショット応用編」では、静止画の応用的な使いかたや、動画の撮影方法などを説明しています。

また、**「困ったときは」**（50ページから）では、本機を操作していて困ったときの代表的な対処方法を説明しています。

「サイバーショット応用編／困ったときは」に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。

本書のイラスト、画面表示について

特に説明が必要な所を除き、DSC-P72を使用しています。

お使いになる前に

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格“ Design rule for Camera File system ”に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、“ メモリースティック ”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。

- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

可動式レンズについて（DSC-P72のみ）

本機は可動式レンズを採用しております。レンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

フラッシュ表面の汚れは取り除いてご使用ください！

発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、フラッシュが充分な量を発光できない場合があります。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。

結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください（**別冊応用編** ➡ 72ページ）。

砂やほこりにご注意ください！

砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。

日光および強い光に向けて本機を使用しないでください！

目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因にもなります。

使用する場所について

- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- テレビやラジオ、チューナーの近くで使わないでください。テレビやラジオ、チューナーの雑音が入ることがあります。

本書中の画像について

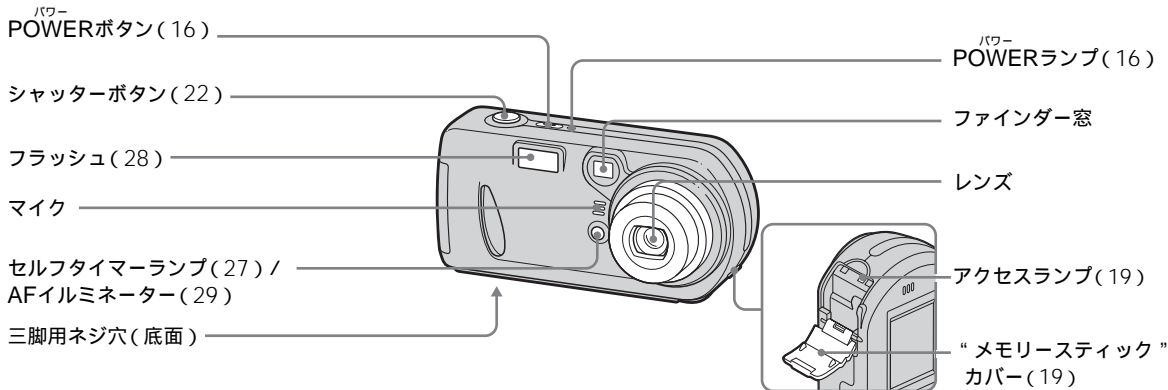
画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

商標について

- "Memory Stick"（"メモリースティック"）、MEMORY STICK TM および"MagicGate Memory Stick"（"マジックゲート メモリースティック"）はソニー株式会社の商標です。
- "メモリースティック　デュオ"および"MEMORY STICK DUO"はソニー株式会社の商標です。
- "メモリースティック　PRO"および"MEMORY STICK PRO"はソニー株式会社の商標です。
- "マジックゲート"および"MAGICGATE"はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTime、iBook、Power Macは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

各部のなまえ

（DSC-P72）

カッコ内の数字はページ数です。

別冊の**「サイバーショット応用編／困ったときは」**に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。

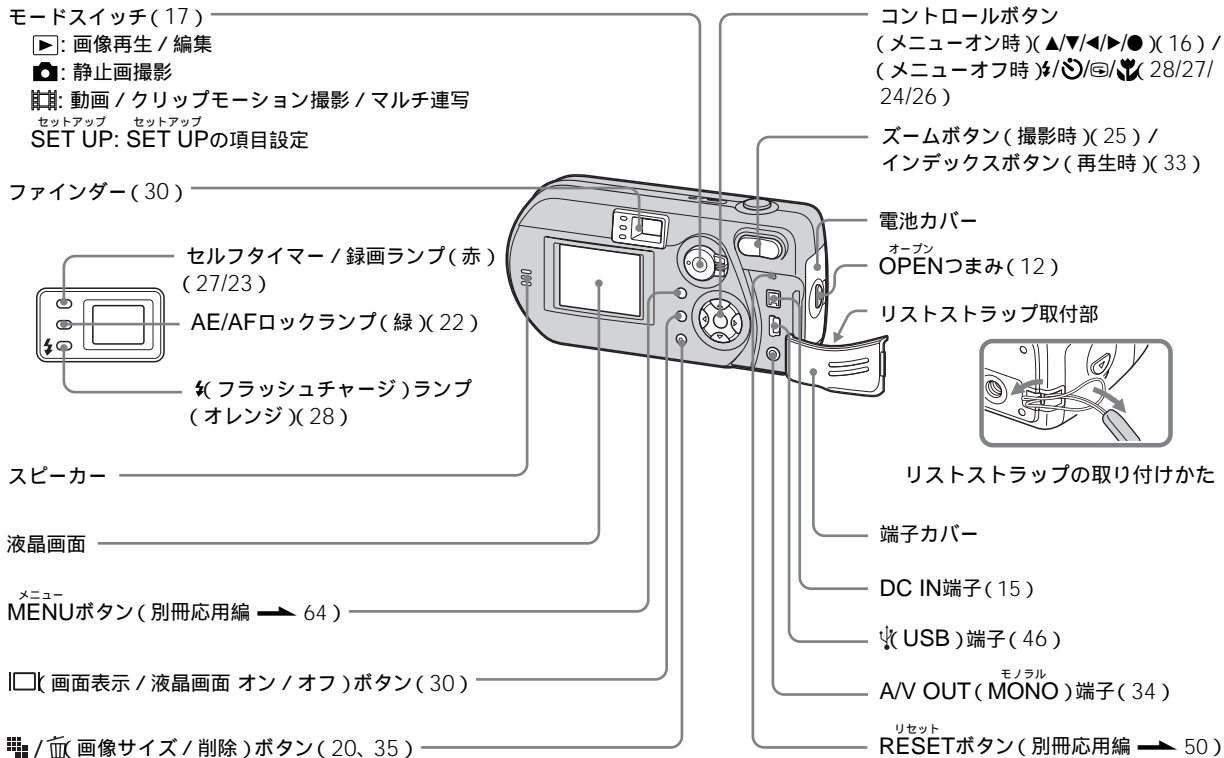
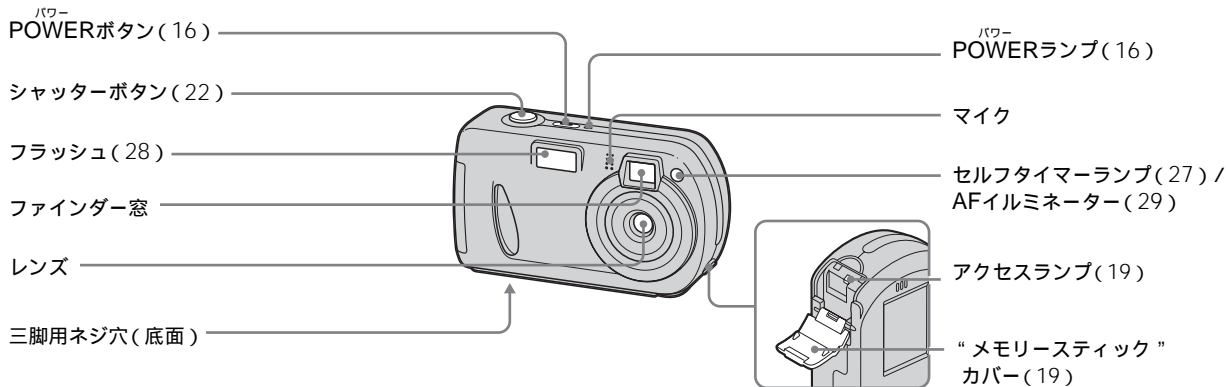
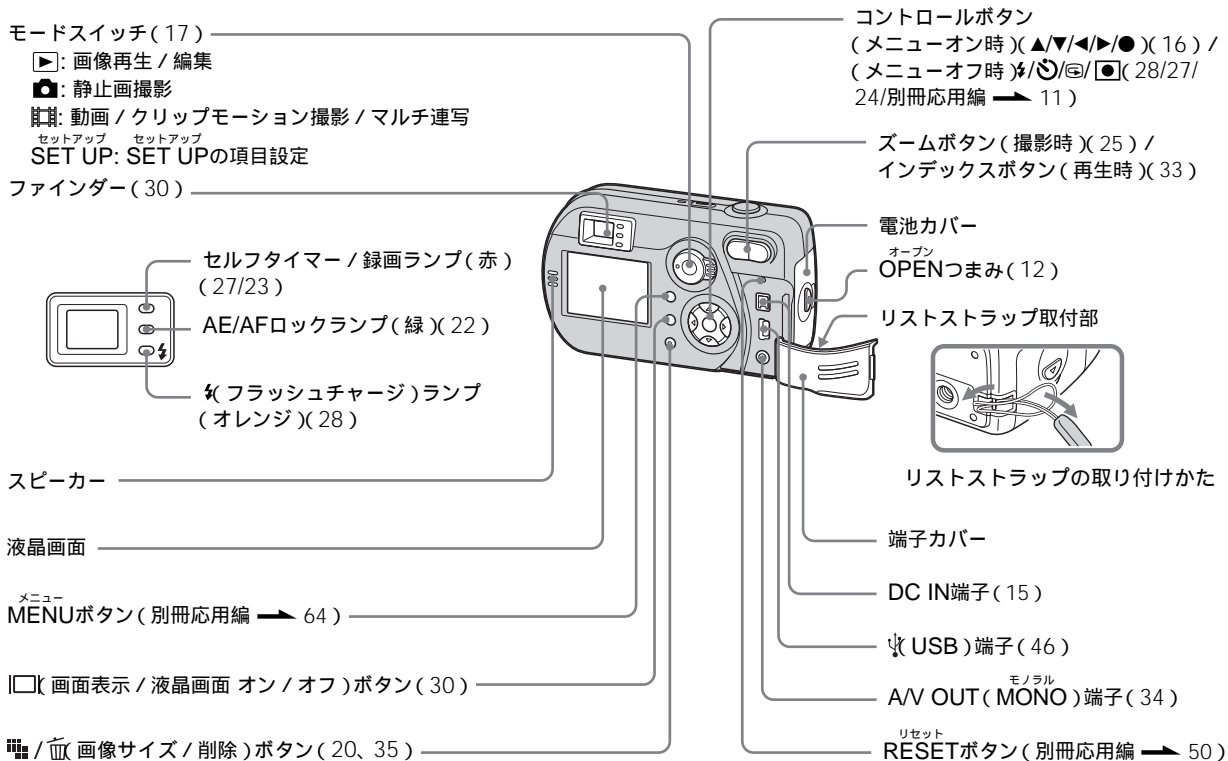
- 本機に表示されている「3.2MEGA PIXELS」は、CCDの有効画素数を表しています。実際に記録される画素数は最大3.1 MEGA PIXELSです。有効画素数表記は日本写真機工業会（JCIA）推奨によるものです。
- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

モードスイッチ（17）
▶: 画像再生／編集
📷: 静止画撮影
🎞: 動画／クリップモーション撮影／マルチ連写
SET UP: SET UPの項目設定
ファインダー（30）
セルフタイマー／録画ランプ（赤）（27/23）
AE/AFロックランプ（緑）（22）
ϟ（フラッシュチャージ）ランプ（オレンジ）（28）
スピーカー
液晶画面
MENUボタン（別冊応用編 ➡ 64）
（画面表示／液晶画面 オン／オフ）ボタン（30）
/🗑（画像サイズ／削除）ボタン（20、35）
コントロールボタン
（メニューオン時）（▲/▼/◀/▶/●）（16）／
（メニューオフ時）ϟ/ /⧉/🌷（28/27/24/26）
ズームボタン（撮影時）（25）／
インデックスボタン（再生時）（33）
電池カバー
OPENつまみ（12）
リストストラップ取付部
リストストラップの取り付けかた
端子カバー
DC IN端子（15）
ψ（USB）端子（46）
A/V OUT（MONO）端子（34）
RESETボタン（別冊応用編 ➡ 50）

（DSC-P32）

別冊の**「サイバーショット応用編／困ったときは」**に操作方法などの詳しい説明が載っている場合、本書では「**別冊応用編** ➡ ページ番号」のようにご案内しています。

- 本機に表示されている「3.2MEGA PIXELS」は、CCDの有効画素数を表しています。実際に記録される画素数は最大3.1 MEGA PIXELSです。有効画素数表記は日本写真機工業会（JCIA）推奨によるものです。
- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

モードスイッチ（17）
▶: 画像再生／編集
📷: 静止画撮影
🎞: 動画／クリップモーション撮影／マルチ連写
セットアップ　セットアップ
SET UP: SET UPの項目設定
ファインダー（30）
セルフタイマー／録画ランプ（赤）
（27/23）
AE/AFロックランプ（緑）（22）
ϟ（フラッシュチャージ）ランプ
（オレンジ）（28）
スピーカー
液晶画面
メニュー
MENUボタン（別冊応用編 ➡ 64）
（画面表示／液晶画面 オン／オフ）ボタン（30）
/🗑（画像サイズ／削除）ボタン（20、35）
コントロールボタン
（メニューオン時）（▲/▼/◀/▶/●）（16）／
（メニューオフ時）ϟ/◌/⧉/●（28/27/
24/別冊応用編 ➡ 11）
ズームボタン（撮影時）（25）／
インデックスボタン（再生時）（33）
電池カバー
オープン
OPENつまみ（12）
リストストラップ取付部
リストストラップの取り付けかた
端子カバー
DC IN端子（15）
ψ（USB）端子（46）
モノラル
A/V OUT（MONO）端子（34）
リセット
RESETボタン（別冊応用編 ➡ 50）

電池を準備する

本機は以下の電池でお使いいただけます。

使用できる電池

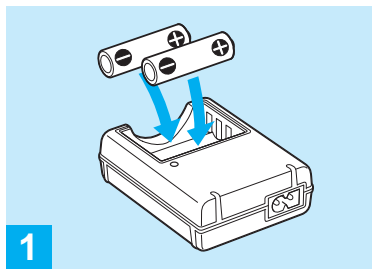
単3形ニッケル水素電池2本
「NH-AA-DA」 2本　（付属）
「NH-AA-2DA」2本パック（別売り）

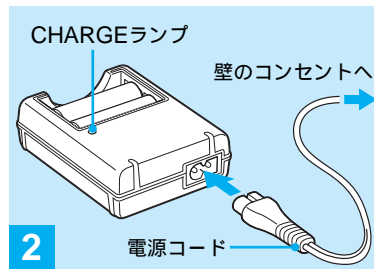
単3形アルカリ電池2本
単3形ニッケルマンガン電池2本
「ZR6-2B」2本パック（別売り）

使用できない電池

マンガン電池、リチウム電池、ニカド電池
上記の電池を使用した場合、電池の特性上、電圧低下などで動作性能保証ができないことがあります。また、電池残量表示については正しく表示されません。

- 単3形アルカリ電池使用時は、以下の点にご注意ください。
  —電池のメーカーや種類によって性能のばらつきが大きく、特に低温下では著しく弱まります。+5°C以下では撮影できないことがあります。
  —電池残量表示が正しく表示されません。

電池を充電する

➡ **バッテリーチャージャー（付属）にニッケル水素電池を⊕、⊖の表示に従って正しく入れる**

- アルカリ電池、ニッケルマンガン電池は充電できません。
- 付属のニッケル水素電池を初めてご使用になる前には必ず充電してください。
- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントをご使用ください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源から遮断されていません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

➡ **電源コードをバッテリーチャージャーと壁のコンセントにつなぐ**

充電が始まり、CHARGEランプが点灯します。CHARGEランプが消灯したら充電が完了です。
付属のバッテリーチャージャーについては、**別冊応用編** ➡ 76ページをご覧ください。

電池を取り出すには

ニッケル水素電池の⊖側を押し、⊕側を浮かせてから、電池を取り出してください。

- 充電が終わったら、電源コードをコンセントから抜いてください。
  ニッケル水素電池をバッテリーチャージャーから取り出してください。

充電時間について

ニッケル水素電池	充電時間
NH-AA-DA×2（付属）	約6時間

使い切ったニッケル水素電池を温度25°Cの環境で、付属のバッテリーチャージャーで充電したときの時間です。

- 約6時間で充電が終了します。CHARGEランプは6時間以上点灯することがありますが故障ではありません。
- 別売りのスタミナ急速充電キットに付属のバッテリーチャージャーBC-CSQ2をお使いになると、充電時間が短縮できます。

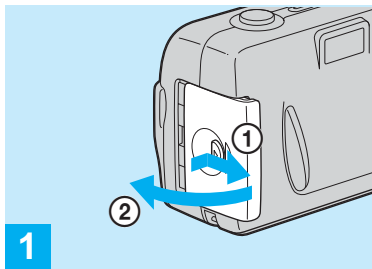
  充電時間
  単3形ニッケル水素電池2本の場合：
  約2時間30分
  単3形ニッケル水素電池4本の場合：
  約5時間

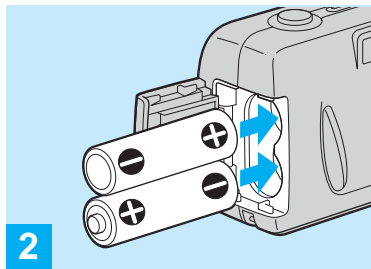
ニッケル水素電池について

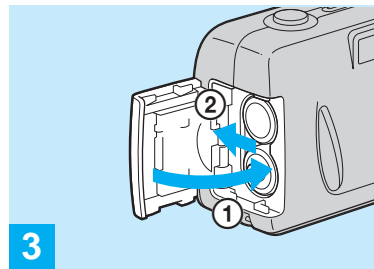
- ニッケル水素電池の電極が汚れていると、正常に充電できない場合があります。電池の電極とバッテリーチャージャーの汚れを、時々乾いた布などで拭き取ってください。
- ニッケル水素電池を持ち運ぶときは、必ず付属の電池ケースに入れてください。金属類で＋、－がショートすると発熱、発火の危険があります。
- お買い上げ時や、長い間使わなかったニッケル水素電池は充分充電されないことがあります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。この場合、充電して使用することを数回繰り返すと、正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをおすすめします。
- ニッケル水素電池は容量が残っている状態で繰り返し充電されるとメモリー効果*が発生して早めに電池残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電することで正常な状態に戻ります。

* メモリー効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象

- 本機でニッケル水素電池を使い切るには「スライドショー」再生（**別冊応用編** ➡ 23ページ）にして電源が切れるまでそのままにしてください。
- 電池の外装シールを剥がしたり、傷つけたりしないでください。外装シールの一部またはすべてを剥がしている電池や破れのある電池は絶対に使用しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。またバッテリーチャージャーの故障の原因となります。

電池を入れる

→ 電池カバーを開ける

OPENつまみの▶を押して、矢印の方向にスライドさせると手前に開きます。

→ 電池を入れる

電池の＋極、－極を電池ケース内部の＋、－の表示に合わせて入れます。

→ 電池カバーを閉める

カバーで電池を押し込みながら閉じます。カバーがカチッというまで閉じてください。

電池を取り出すには

本機の電池カバー側を上に向けて開いてから、電池を取り出してください。

- 電池の電極と本機の電池カバーの電池端子部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電極や電池端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。

- 本機の電池カバーを開閉するときは電池が落下しないようにご注意ください。

電池残量表示（ニッケル水素電池使用時）

電池の残量が少なくなると、電池残量表示は以下のように表示されます。

残量表示	電池残量の目安
(電池アイコン)	充分あります。
(電池アイコン)	少なくなりました。
(電池アイコン)	撮影、再生がもうすぐできなくなります。
(電池アイコン・点滅)	充電済みのニッケル水素電池と交換するか、充電してください。（警告表示が点滅します）

- 液晶画面をオフにしているときは[□]ボタンを押して液晶画面をオンにしてください。
- 使用状況や充電状態、環境によって正しく表示されない場合があります。
- ACアダプター（別売り）使用時は電池残量は表示されません。

パワーセーブについて

パワーセーブ［入］でご使用になると撮影時間を長持ちさせることができます。

モードスイッチを「SET UP」に合わせ、[設定アイコン]（設定1）の［パワーセーブ］を［入］にしてください。お買い上げ時は［入］に設定されています（**別冊応用編 ➡ 71ページ**）。

アルカリ電池使用時は、パワーセーブ［入］にすることをおすすめします。

パワーセーブ［入］にすると

- 静止画撮影時はシャッターボタンを半押ししたときのみピントが合います。
- フラッシュを充電している間は、⚡ランプが点滅して液晶画面オフになります。充電が完了すると液晶画面オンになります。

電池の使用時間と撮影／再生可能枚数

次の表は撮影モードを通常撮影にし、充電した電池で温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、撮影／再生枚数は付属の“メモリースティック”を交換しながら撮影／再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影[1)]

画像サイズ	NH-AA-DA×2（付属）		
	液晶画面	**撮影枚数**	**使用時間**
DSC-P72			
3.1M	オン	約300枚	約150分
	オフ	約500枚	約250分
VGA	オン	約300枚	約150分
	オフ	約500枚	約250分
DSC-P32			
3.1M	オン	約320枚	約160分
	オフ	約540枚	約270分
VGA	オン	約320枚	約160分
	オフ	約540枚	約270分

画像サイズ	単3形アルカリ電池×2（別売り）		
	液晶画面	撮影枚数	使用時間
DSC-P72			
3.1M	オン	約70枚	約35分
	オフ	約130枚	約65分
VGA	オン	約70枚	約35分
	オフ	約130枚	約65分
DSC-P32			
3.1M	オン	約80枚	約40分
	オフ	約140枚	約70分
VGA	オン	約80枚	約40分
	オフ	約140枚	約70分

- ソニー製アルカリ電池使用時

[1] 以下の設定で撮影

－画質設定をファインにする

－30秒ごとに1回撮影

－1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする（DSC-P72のみ）

－2回に1度、フラッシュを発光

－10回に1度、電源を入／切する

静止画を再生するとき[2]

画像サイズ	NH-AA-DA×2（付属）	
	再生枚数	使用時間
DSC-P72		
3.1M	約5400枚	約270分
VGA	約5400枚	約270分
DSC-P32		
3.1M	約6000枚	約300分
VGA	約6000枚	約300分

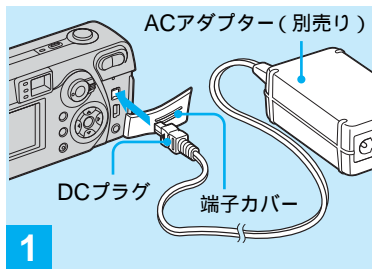
[2] 約3秒ごとにシングル画面で順番に再生

動画を撮影するとき[3]

	NH-AA-DA×2（付属）	
	液晶画面オン	液晶画面オフ
DSC-P72	約160分	約210分
DSC-P32	約160分	約210分

[3] 画像サイズが160（Mail）の場合の連続撮影

- 次のような場合は使用時間と撮影／再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  – 周囲が低温のとき
  – フラッシュ使用時
  – 電源の入／切を繰り返したとき
  – ズームを多用したとき（DSC-P72のみ）
  – ［LCDバックライト］が［明］になっているとき
  – ［パワーセーブ］を［切］にしたとき
  – 使用回数を重ねたり、時間が経過して電池の容量が低下したとき（**別冊応用編** ➡ 76ページ）

外部電源で使う

→ 端子カバーを開け、ACアダプターAC-LS5（別売り）のケーブルを本機のDC IN端子につなぐ

DCプラグの▲マークを液晶画面側にしてつなぎます。

→ 電源コードをACアダプターと壁のコンセントにつなぐ

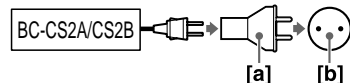
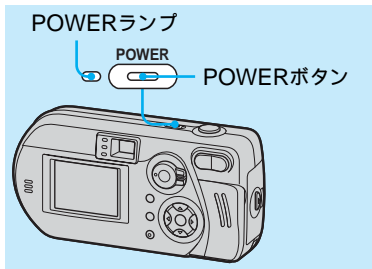
- **ACアダプターは「AC-LS5」をお使いください。それ以外のACアダプターは使用できません。**
- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

海外で使うときは

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
主に北米など	不要です。
主にヨーロッパなど	

本機は海外でもお使いになれます。

- バッテリーチャージャー（付属）やACアダプターAC-LS5（別売り）は、全世界の電源（ AC 100 V〜240 V・50/60 Hz）でお使いいただけます。
- 下図のように、バッテリーチャージャー（付属）やACアダプターAC-LS5（別売り）を差し込む変換プラグアダプター**[a]**が必要になる場合があります。

- 変換プラグアダプター**[a]**／電源コンセント**[b]**の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

電源を入れる／切る

➡ POWERボタンを押して、電源を入れる

POWERランプが緑色に点灯し、電源が入ります。初めて電源を入れたときは、時計設定画面が表示されます（17ページ）。

電源を切る

POWERボタンを再び押すと、POWERランプが消え、電源が切れます。

- **レンズが出た状態で電源やACアダプターを抜かないでください。故障の原因になります。**
- モードスイッチが「📷」、「🎞」のいずれかになっているときは、電源を入れると、レンズ部が動きます（DSC-P72のみ）。レンズ部に触れないようにご注意ください。

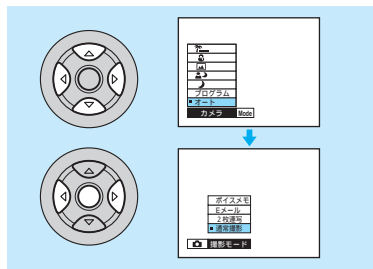
オートパワーオフ機能

電池を使って、撮影、再生またはセットアップを行っているとき、本機の電源を入れたまま一定時間*操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。

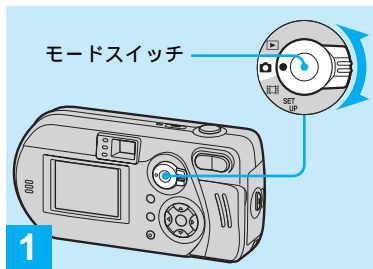
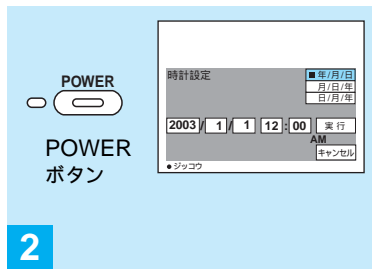
ただし、電池使用中でも、下記の場合はオートパワーオフ機能は働きません。

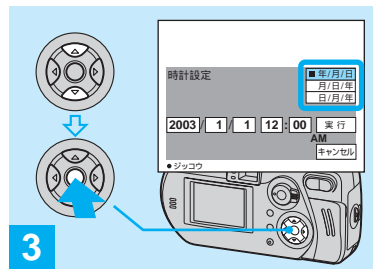
- 動画再生時
- スライドショー時
- ψ（USB）端子またはA/V OUT（MONO）端子にプラグが接続されているとき

* パワーセーブ［入］のとき：約90秒間
パワーセーブ［切］のとき：約3分間

コントロールボタンについて

本機の設定を変えるときは、液晶画面にメニューやSET UP画面（**別冊応用編** ➡ 4ページ）を表示させ、コントロールボタンを使って操作します。

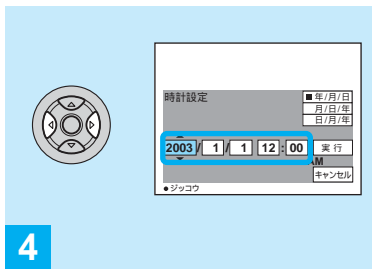
各項目を設定するときは、コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、項目や設定を選び、最後に中央の●、または◀/▶を押して決定します。

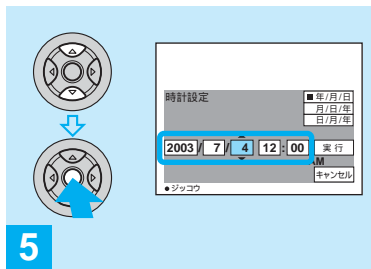
日付／時刻を合わせる

➡ **モードスイッチを「📷」にする**

➡ **POWERボタンを押して、電源を入れる**

POWERランプが緑色に点灯します。
時計設定画面が表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す**

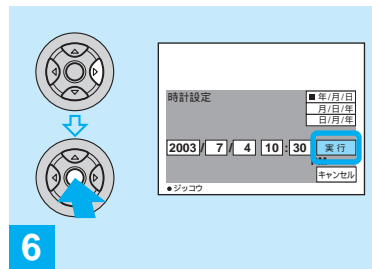
表示は、［年/月/日］、［月/日/年］、［日/月/年］の中から選びます。

- モードスイッチを「🎞」、「▶」の位置にしても操作できます。
- 一度設定した日付、時刻を合わせ直すときは、モードスイッチを「SET UP」に合わせ、［ ］（設定1）の［時計設定］を選び（**別冊応用編** ➡ 4、71ページ）、手順**3**から行ってください。

- 時計の設定を記憶しておくための充電式ボタン電池の残量が少なくなると（**別冊応用編** ➡ 73ページ）、自動的に時計設定画面が表示されます。このときは手順**3**以降を行って日付、時刻を設定し直してください。

➡ コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ

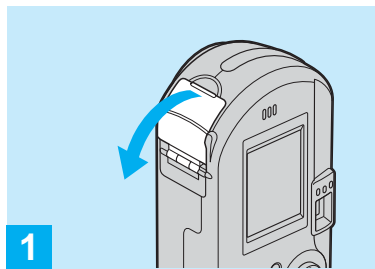
設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す

数値が確定され、次の項目に移ります。上記の手順を繰り返して、すべての項目を設定してください。

- 手順3で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

➡ コントロールボタンの▶で［実行］を選び、中央の●を押す

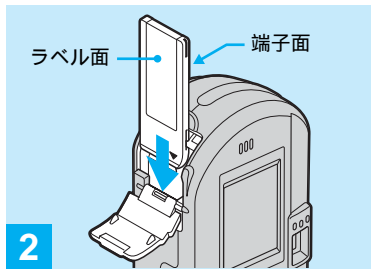
日付・時刻が設定され、時計が動き始めます。

- 中止するときは、コントロールボタンで［キャンセル］を選び、中央の●を押します。

“メモリースティック”を入れる／取り出す

1

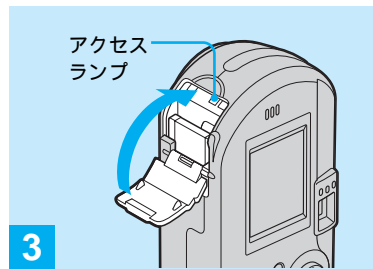
➡“メモリースティック”カバーを開ける

矢印の方向に開けます。

• “メモリースティック”については、**別冊応用編** ➡ 74ページをご覧ください。

2

➡“メモリースティック”を入れる

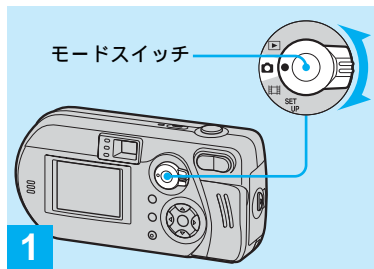
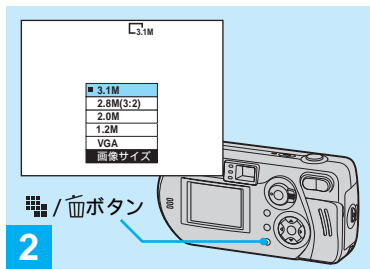
“メモリースティック”を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

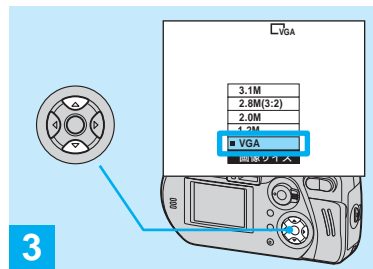
• “メモリースティック”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まないと正常な記録、再生ができないことがあります。

3

➡“メモリースティック”カバーを閉める

“メモリースティック”を取り出すには
“メモリースティック”カバーを開け、“メモリースティック”を1回押して取り出してください。

• **アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対に“メモリースティック”を取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。**

静止画の画像サイズを決める

➡ モードスイッチを「📷」にする

➡ 電源を入れ、/(画像サイズ)ボタンを押す

画像サイズが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で希望の画像サイズを選ぶ

画像サイズが確定します。設定が終わったら、/(画像サイズ)ボタンを押してください。画面から画像サイズの表示が消えます。

- 画像サイズについては、21ページをご覧ください。

- ここで選んだ画像サイズの設定は、電源を切った後も保持されます。

画像サイズと画質について

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）と画質（圧縮率）を選ぶことができます。画像サイズを大きく、画質を高くするほど、画像はきれいになりますが、データ容量が大きくなり、" メモリースティック "に記録できる枚数は少なくなります。
目的に合った画像サイズと画質をお選びください。
撮影した画像のサイズをあとで変えることもできます（リサイズ機能、**別冊応用編** → 29ページ）。

画像サイズは下記の5種類から選ぶことができます。用途例はその画像サイズに適する最小画素数の場合です。よりきれいな画像にするときは、画像サイズを大きくしてください。

画像サイズ		用途例
3.1M	2048×1536	A4プリント
2.8M（3:2）	2048（3:2）	3:2プリント[1]
2.0M	1632×1224	A5プリント
1.2M	1280×960	ハガキサイズの印刷
VGA	640×480	ホームページ作成

[1] プリント紙の横縦比3：2に合うように、画像を3：2で撮影します。

" メモリースティック "1枚に記録できる枚数[2]

枚数はファイン（スタンダード）[3] の順で記載されています。

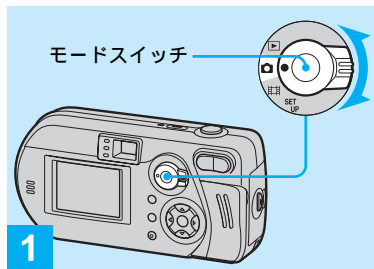
（単位：枚）

画像サイズ ＼ 容量	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX -256	MSX -512	MSX -1G
3.1M	10 (18)	20 (37)	41 (74)	82 (149)	148 (264)	302 (537)	617 (1097)
2.8M（3:2）	10 (18)	20 (37)	41 (74)	82 (149)	148 (264)	302 (537)	617 (1097)
2.0M	16 (30)	33 (61)	66 (123)	133 (246)	238 (446)	484 (907)	988 (1852)
1.2M	24 (46)	50 (93)	101 (187)	202 (376)	357 (649)	726 (1320)	1482 (2694)
VGA	97 (243)	196 (491)	394 (985)	790 (1975)	1428 (3571)	2904 (7261)	5928 (14821)

[2] 撮影モードが［通常撮影］の場合
その他のモードの記録枚数は**別冊応用編** → 63ページをご覧ください。

[3] 画質については**別冊応用編** → 5ページをご覧ください。

- 本機に表示されている「3.2MEGA PIXELS」は、CCDの有効画素数を表しています。実際に記録される画素数は、最大3.1MEGA PIXELSです。
- 当社従来モデルで撮影された1600×1200サイズの画像を再生しても「2.0M」と表示されますが、実際の画像サイズは1.9Mです。
- 本機の液晶画面で見るときはどの画像サイズでも同じ大きさに見えます。
- 記録枚数は、撮影状況によって数値と異なる場合があります。
- 撮影残枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。

簡単に撮る ― オート撮影

➡ モードスイッチを「📷」にして、電源を入れる

液晶画面に画像の記録フォルダの名前が約5秒間表示されます。

➡ 両手でカメラを構え、被写体をフレーム中央部におさめる

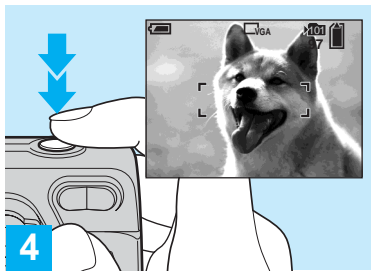
レンズやフラッシュ発光部、マイクに指がかからないようにしてください。

➡ シャッターボタンを半押しする

「ピピッ」と音がします。液晶画面内のAE/AFロック表示が点滅から点灯に変わると、撮影可能です。（被写体によっては画面が一瞬止まる場合があります。）

- レンズカバーは電源を入れると開きます。
- 本機の電源オン時やズーム使用時（25ページ）など、レンズ部が動いているときは、レンズ部に触れないでください（DSC-P72のみ）。
- 本機では、“ メモリースティック ”に記録するフォルダを新しく作成したり、選択することができます（**別冊応用編** ➡ 5ページ）。

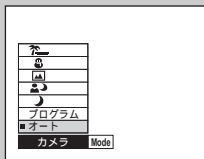
- ピント合わせに必要な被写体までの距離は、DSC-P72で50 cm、DSC-P32で10 cm以上です。これより近くの被写体を撮影するときは近接撮影してください（DSC-P72のみ）（26ページ）。

- シャッターボタンを離せば、いつでも撮影を中止できます。
- 「ピピッ」と音がしないときは、AFロックが失敗しています。このまま撮影することもできますが、ピント合わせは正しく設定されていません。
- 液晶画面内に出る枠はピント合わせを行う範囲を表します（AF測距枠、**別冊応用編** ➡ 7ページ）。

→ 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込む

「カシャッ」と音がして、撮影が完了し静止画が“メモリースティック”に記録されます。録画ランプ（7、9ページ）が消えると、次の撮影ができます。

- 電池を使って撮影を行っているとき、本機の電源を入れたまま一定時間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます（16ページ）。

モードスイッチの「」について

モードスイッチを「」にしたとき、メニューの［］（カメラ）の設定により、使える機能が下記のように変わります。

静止画オート撮影［オート］

撮影に必要なピント合わせや露出、ホワイトバランスの調整を自動でおこなうため、簡単に撮影することができます。また、画質は［ファイン］、AF測距枠は［マルチAF］、測光モードはマルチパターン測光になります（**別冊応用編** → 7、10ページ）。

メニューに表示されるのは、［］（カメラ）と［Mode］（撮影モード）のみになります。

静止画プログラム撮影［プログラム］

メニューで撮影機能を設定できます。

夜景モード［］

（**別冊応用編** → 18ページ）

夜景＆人物モード［］

（**別冊応用編** → 18ページ）

風景モード［］

（**別冊応用編** → 18ページ）

スノーモード［］

（**別冊応用編** → 18ページ）

ビーチモード［］

（**別冊応用編** → 18ページ）

撮影方法を切り換えるには

1 モードスイッチを「」にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールボタンの◀で［］（カメラ）を選ぶ。

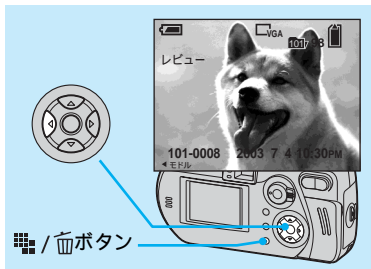
4 コントロールボタンの▲/▼で希望の撮影方法を選ぶ。

ピント合わせについて

ピントを合わせにくい被写体を撮影しようとしたときは、点滅していたAE/AFロック表示が遅い点滅に変わります。
自動ピント合わせ（AF＝オートフォーカス）の場合は、下記の条件でピントが合いにくいことがあります。構図を変えるなどしてもう1度ピントを合わせてみてください。

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

オートフォーカスには、マルチポイントAFと中央重点AFの2つがあります（**別冊応用編** ➡ 7ページ）。メニューの［📷］（カメラ）が［オート］に設定されているときは、自動的にマルチポイントAFに設定されます。

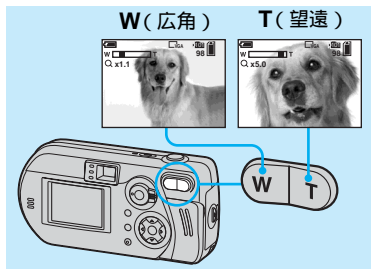
最後に撮影した画像を確かめる — クイックレビュー

➡ コントロールボタンの◄（⊜）を押す

通常の撮影モードに戻るには、シャッターボタンを軽く押すか、もう1度コントロールボタンの◄（⊜）を押します。

表示された画像を削除する

1 / 🗑（削除）ボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲で［削除］を選んで、中央の●を押す。
画像が削除されます。

ズームで撮る

→ ズームボタンで希望の大きさにし、撮影する

ピントが合うための最短距離

レンズ先端から約50 cm（DSC-P72）
レンズ先端から約10 cm（DSC-P32）

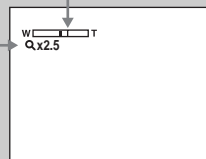
- ズーム時はレンズ部が動きます（DSC-P72のみ）。レンズ部に触れないようにご注意ください。
- 動画撮影中はズーム倍率を変更することはできません（**別冊応用編** → 32ページ）。

スマートズーム

デジタル処理により画像を劣化させずに拡大する機能です。
最大ズーム倍率は画像サイズによって異なります。

	DSC-P32	DSC-P72
2.0M	1.3倍	3.8倍
1.2M	1.6倍	4.8倍
VGA	3.2倍	9.6倍

画像サイズが［3.1M］、［2.8M（3:2）］**に設定されているときは、スマートズームを使用できません。**

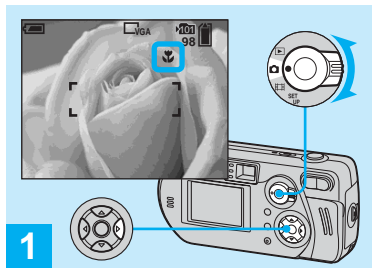
DSC-P72
3倍を越えるズームは、スマートズームになります。この機能を使わないときは、「SET UP」の［スマートズーム］を［切］にしてください（**別冊応用編** → 69ページ）。
ズームボタンを押すと、液晶画面にズーム倍率表示が表示されます。

DSC-P32
光学ズームはありません。スマートズームのみになります。

- スマートズーム時の画像はファインダーでは確認できません。
- スマートズーム時、液晶画面を見ると画像が粗く見える場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。
- スマートズーム時はAF測距枠は表示されません。［F］（フォーカス）が［マルチAF］または［中央重点AF］に設定されている場合は、[ ]または[ ]が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。

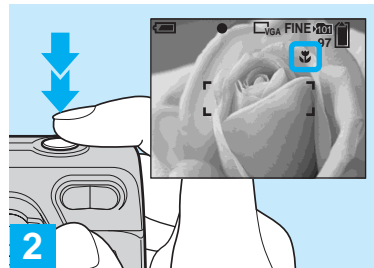
近接撮影 ― マクロ撮影（DSC-P72のみ）

花や昆虫など、小さな被写体に接近して撮りたいときは、近接（マクロ）撮影をします。下記の距離まで被写体に接近して撮影することができます。

ズームがW側いっぱいのとき：
レンズ先端から約10 cm

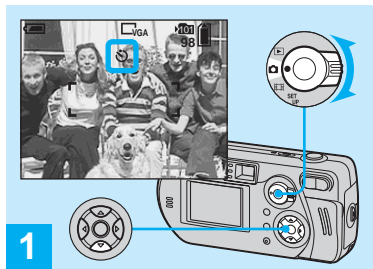
ズームがT側いっぱいのとき：
レンズ先端から約50 cm

➡ モードスイッチを「📷」にして、コントロールボタンの▶（🌷）を押す

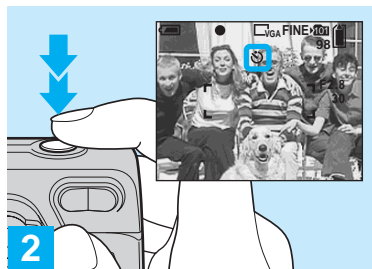
液晶画面に🌷（マクロ）が表示されます。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

➡ 被写体をフレーム中央部におさめ、シャッターボタンを深く押し込む

通常撮影に戻すには
もう1度コントロールボタンの▶（🌷）を押してください。液晶画面から🌷が消えます。

- マクロ撮影時は液晶画面を使って撮影してください。ファインダーを使って撮影すると、実際に見える範囲と写る範囲がずれることがあります。

セルフタイマーで撮る

➡ **モードスイッチを「📷」にして、コントロールボタンの▼（⏲）を押す**

液晶画面に⏲（セルフタイマー）が表示されます。

➡ **被写体をフレーム中央部におさめ、シャッターボタンを深く押し込む**

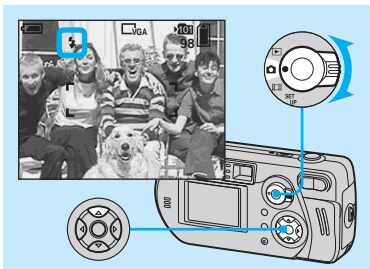
セルフタイマーランプ（7、9ページ）がオレンジ色に点滅し、「ピッピッピ」とビープ音が鳴ります。約10秒後に撮影されます。

セルフタイマーを途中で止めるには

もう1度コントロールボタンの▼（⏲）を押してください。液晶画面から⏲が消えます。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

- カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

フラッシュモードを選ぶ

➡ モードスイッチを「📷」にして、コントロールボタンの▲（⚡）を繰り返し押し、フラッシュモードを選ぶ

フラッシュモードは下記の通りです。

表示なし（オート）：撮影状況の光量が足りないと判断した場合、または逆光と判断した場合は自動的に発光します。
⚡（強制発光）：周囲の明るさに関係なく発光します。
⚡SL（スローシンクロ）：周囲の明るさに関係なく発光します。暗い場所で撮影するときはシャッタースピードが遅くなり、フラッシュが届かない背景も明るく写すことができます。
🚫（発光禁止）：発光しません。

- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- モードスイッチを「🎞」（クリップモーション）の位置にしても操作できます。
- フラッシュ推奨撮影距離はDSC-P72：約0.5 m～約3.8 m（W）／約0.5 m～約2.5 m（T）、DSC-P32：約0.5 m～約3.8 mです（[ISO]が［オート］のとき）。
- フラッシュの発光量はメニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（**別冊応用編** ➡ 13ページ）。（[📷]（カメラ）が［オート］に設定されているときは操作できません。）
- ⚡SL（スローシンクロ）または🚫（発光禁止）のときに暗い場所で撮影するとシャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。
- フラッシュを充電している間は、⚡ランプが点滅します。充電が完了すると消灯します。
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

逆光時での撮影について

フラッシュモードをオートに設定しているときは、被写体の周囲が明るくても、被写体が逆光になって明るさが足りないと、フラッシュが自動的に発光します（自動日中シンクロ）。

未発光

発光時

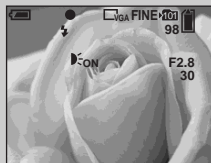
- 撮影条件によっては、充分な効果が得られないことがあります。
- フラッシュを発光させたくないときは、🚫（発光禁止）にしてください。

赤目軽減するには

撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。
「SET UP」の［赤目軽減］を［入］にしてください（**別冊応用編** ➡ 69ページ）。液晶画面に👁が表示されます。

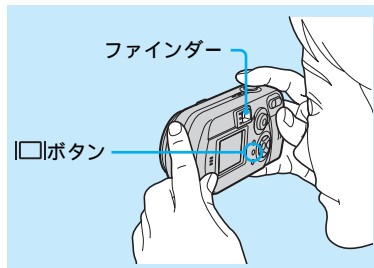
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。

AFイルミネーターを使って撮影する

暗い場所でフォーカスを合わせるための補助光です。
「SET UP」の［AFイルミネーター］を［オート］にしてください（**別冊応用編** ➡ 69ページ）。撮影時にONが表示され、シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまで自動的に赤く発光します。

- AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合*やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。

  * DSC-P72：約3.8 m（W）まで/約2.5 m（T）まで
  DSC-P32：約2.5 mまで

- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- フォーカスプリセット（**別冊応用編** ➡ 8ページ）のときは、AFイルミネーターは使えません。
- ［F］（フォーカス）が［マルチAF］または［中央重点AF］に設定されている場合は、AF測距枠は表示されません。[ ]または[ ]が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- メニューの［📷］（カメラ）で以下のモードを選んだ場合、AFイルミネーターは発光しません（**別冊応用編** ➡ 18ページ）。
  — 🌙 夜景モード
  — ▲ 風景モード
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

静止画を撮る

ファインダーで撮る

電池の消耗をおさえたいときや、液晶画面で画像を確認しづらいときの撮影に便利です。
ボタンを押すたびに、表示が下記の順で切り換わります。

画面表示オフ

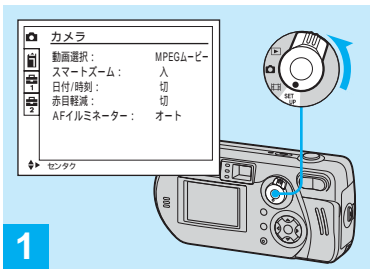
↓

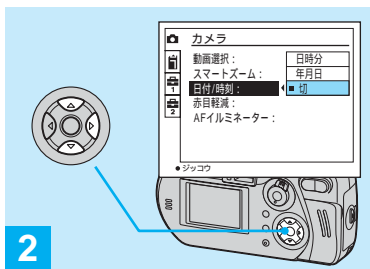
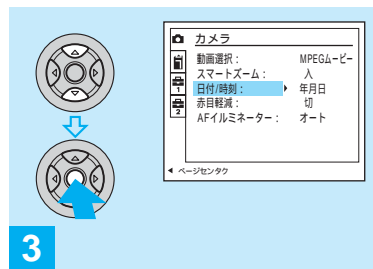
液晶画面オフ

↓

画面表示オン

- ファインダーでは撮影範囲の全体を確認することはできません。撮影できる範囲を正しく把握するには、液晶画面での撮影をおすすめします。
- 表示項目について詳しくは、**別冊応用編** ➡ 80ページをご覧ください。
- 液晶画面内のAE/AFロック表示と同じく、ファインダー部のAE/AFロックランプが点滅から点灯に変わると、撮影可能です（22ページ）。
- 液晶画面がオフのときスマートズームは働きません（25ページ）。
- 液晶画面がオフのとき（フラッシュモード）／（セルフタイマー）／（マクロ）（DSC-P72）、（スポット測光）（DSC-P32）を押すと液晶画面に画像が約2秒表示され、設定の確認と変更ができます。
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

日付や時刻を入れて撮る

➡ モードスイッチを「SET UP」にする

SET UP画面が表示されます。

➡ コントロールボタンの▲で［📷］（カメラ）を選び、▶を押す。▲/▼で［日付／時刻］を選び、▶を押す

➡ コントロールボタンの▲/▼で挿入するデータの種類を選び、中央の●を押す

日時分：画像に撮影日時分を入れる
年月日：画像に撮影年月日を入れる
切：画像に日付・時刻は記録されない

設定が終わったら、モードスイッチを「📷」にして、撮影してください。

- 日付や時刻を入れて撮影すると、あとで消去できませんのでご注意ください。
- 撮影時は実際の日付や時刻は表示されず、液晶画面左上にDATEが表示されます。実際の日付や時刻は、再生時に画像右下に赤色で表示されます。

- ［年月日］を選んだ場合、「日付／時刻を合わせる」（17ページ）で選んだ表示順の年月日が挿入されます。
- ここで選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

本機の液晶画面で見る

シングル（1枚表示）画面

インデックス（9枚表示）画面

インデックス（3枚表示）画面

撮影した画像を本機の画面ですぐに見ることができます。表示方法は下記の3種類から選ぶことができます。

シングル（1枚表示）画面
1枚の画像を画面いっぱいで見ることができます。

インデックス（9枚表示）画面
9枚の画像を同時に見ることができます。
インデックス（3枚表示）画面
3枚の画像を同時に見ることができます。画像情報も表示できます。

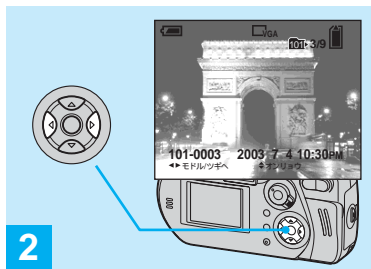
シングル画面で見る

➡ モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる

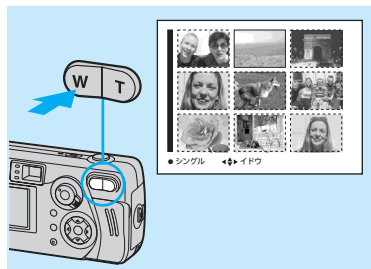
選択されている記録フォルダ（**別冊応用編 ➡** 21ページ）の最新の画像が表示されます。

• 動画の再生については、**別冊応用編 ➡** 33ページをご覧ください。

• 画像に表示されるマークについては、**別冊応用編 ➡** 82ページをご覧ください。

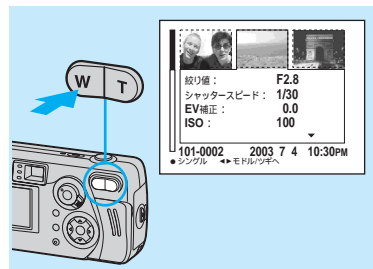
インデックス（9枚/3枚表示）画面で見る

2

➡ コントロールボタンの◀/▶で静止画を選ぶ

◀：前の画像が表示されます。
▶：次の画像が表示されます。

➡ ズームW（インデックス）ボタンを1回押す

インデックス（9枚表示）画面に切り換わります。

次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して、黄色い枠を上下左右に動かしてください。

➡ ズームW（インデックス）ボタンをもう1回押す

インデックス（3枚表示）画面に切り換わります。
コントロールボタンの▲/▼を押すと残りの画像情報が表示されます。

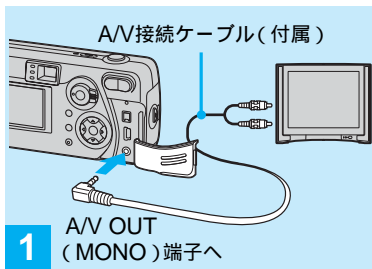
次（前）のインデックス画面を表示するには

コントロールボタンの◀/▶を押してください。

シングル画面に戻るには

ズームTボタンを繰り返し押すか、コントロールボタンの中央の●を押してください。

静止画を見る

テレビで見る

→ 付属のA/V接続ケーブルで本機のA/V OUT（MONO）端子と、テレビの映像/音声入力端子を接続する

テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声プラグ（黒）を左音声端子に接続してください。

→ テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする

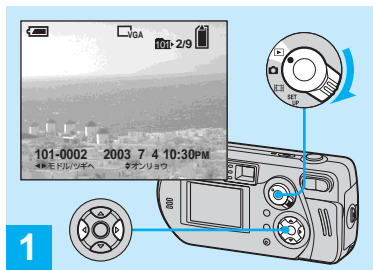
→ モードスイッチを「▶」にして、本機の電源を入れる

コントロールボタンの◀/▶で画像を選びます。

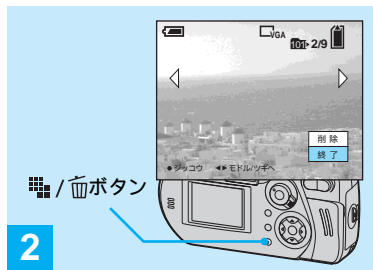
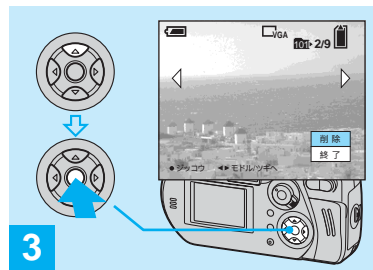
- 本機とテレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつないでください。

- お使いのテレビによって、スイッチの名称や位置は異なります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

- 海外でお使いのときはビデオ出力信号の切り換えが必要な場合もあります（**別冊応用編** → 71ページ）。

静止画を削除する

➡ モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる。
コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を表示する

➡ /（削除）ボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

• プロテクトされている画像（**別冊応用編** ➡ 27ページ）は削除できません。

➡ コントロールボタンの▲で［削除］を選び、中央の●を押す

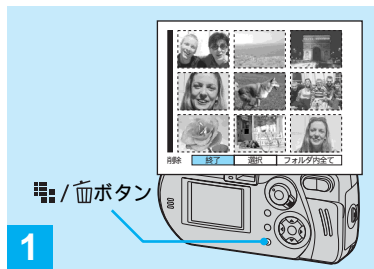
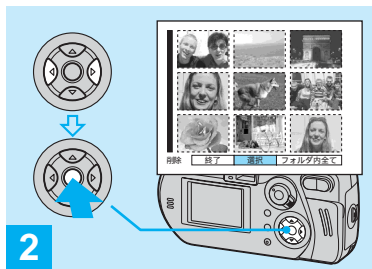
「アクセス中」という表示が消えると、画像が削除されます。

続けて他の画像も削除するには

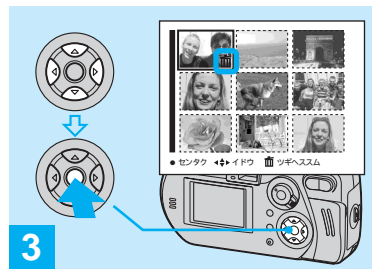
コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を表示します。次に▲で［削除］を選び、中央の●を押してください。

削除を中止するには

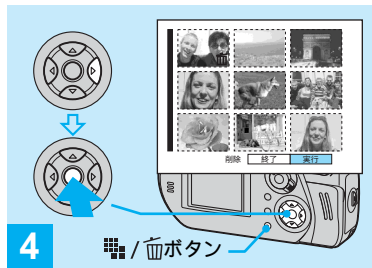
コントロールボタンの▼で［終了］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（9枚表示）画面で削除する

→ インデックス（9枚表示）画面（33ページ）で、/（削除）ボタンを押す

→ コントロールボタンの◀/▶で［選択］を選び、中央の●を押す

フォルダ内のすべての画像を削除するには

コントロールボタンの▶で［フォルダ内全て］を選び、中央の●を押してください。次に［実行］を選び、中央の●を押してください。プロテクトされていないすべての画像が削除されます。
削除を中止するときは［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

→ 削除したい画像をコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す

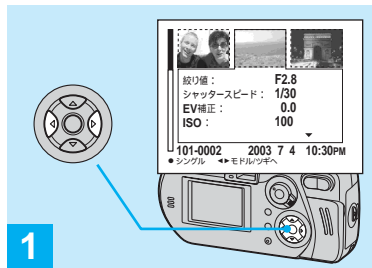
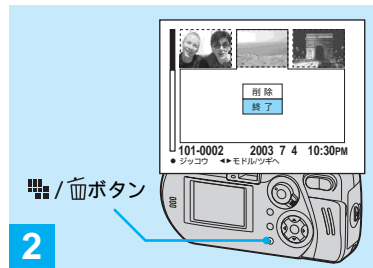
選んだ画像に（削除）マークが付きます。この時点ではまだ削除されていません。削除したいすべての画像にマークを付けてください。

- 選択を取り消すには、もう1度取り消したい画像を選んで、中央の●を押してください。マークが消えます。

➡ /（削除）ボタンを押し、コントロールボタンの▶で［実行］を選び、中央の●を押す

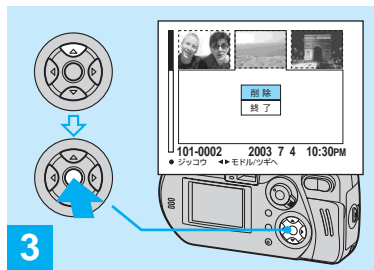
「アクセス中」という表示が消えると、マークを付けた画像が削除されます。

削除を中止するには

コントロールボタンの◀で［終了］を選び、中央の●を押してください。

インデックス（3枚表示）画面で削除する

➡ インデックス（3枚表示）画面（33ページ）で、コントロールボタンの◀/▶で削除したい画像を中央に表示する

➡ /（削除）ボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

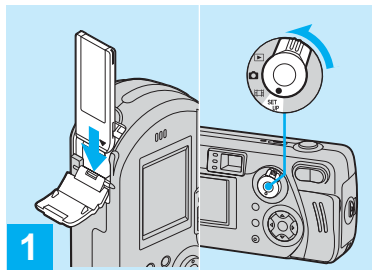
インデックス（3枚表示）画面で削除する（つづき）

➡ コントロールボタンの▲で［削除］を選び、中央の●を押す

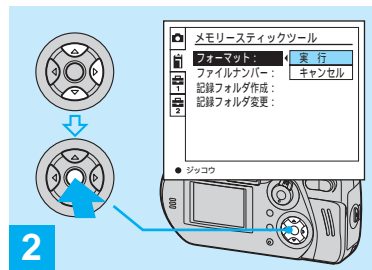
「アクセス中」という表示が消えると、中央の画像が削除されます。

削除を中止するには

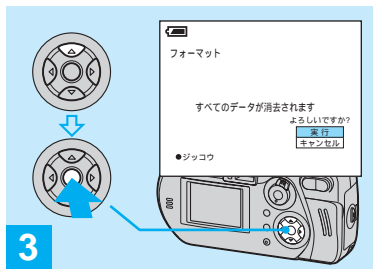
コントロールボタンの▼で［終了］を選び、中央の●を押してください。

“メモリースティック”をフォーマットする

1

➡ フォーマットしたい“メモリースティック”を入れる。モードスイッチを「SET UP」にして、電源を入れる

- 「フォーマット」とは、“メモリースティック”に画像を記録できるようにする作業のことで、「初期化」とも言います。本機に付属、または市販の“メモリースティック”はすでにフォーマットされており、すぐにお使いになれます。
- **フォーマットすると、プロテクトした画像を含め、“メモリースティック”内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。**

➡ コントロールボタンの▲/▼で［］（メモリースティックツール）を選ぶ。▶で［フォーマット］を選ぶ。▶を押して▲で［実行］を選び、中央の●を押す

フォーマットを中止するには

コントロールボタンの▼で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す

「フォーマット中」という表示が消えると、フォーマットが完了します。

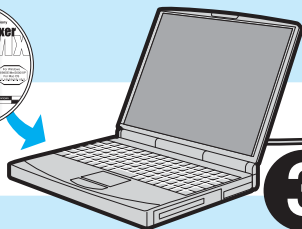
静止画を削除する

静止画をパソコンに取り込むまで

右記のような流れで、本機で撮影した画像をパソコンに取り込みます。

お使いのOSでの手順は

OSによって手順❶が不要な場合があります。

OS	手順
Windows 98/98SE/2000/Me	手順❶～❺すべて（42～49、52ページ）
Windows XP	手順❷～❺（45～46、50～52ページ）
Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)	55～56ページ

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

Digital Imaging Customer Support　***http://www.sony.co.jp/support-di/***

パソコンの推奨使用環境

■ Windowsパソコン環境

OS: Microsoft Windows 98/
Windows 98SE/
Windows 2000 Professional/
Windows Millennium Edition/
Windows XP Home Edition/
Windows XP Professional
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ:800×600ドット以上
High Color（16 bitカラー、65 000色）以上

■ Macintosh環境

OS: Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1にアップデートしてご使用ください。

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac
– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ:800×600ドット以上
32 000色モード以上

• 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
• USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
• 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

USBモードについて

USBモードには［標準］と［PTP］*の2通りの接続方法があり、お買い上げ時には［標準］に設定されています。
ここでは主に［標準］での使いかたを説明します。

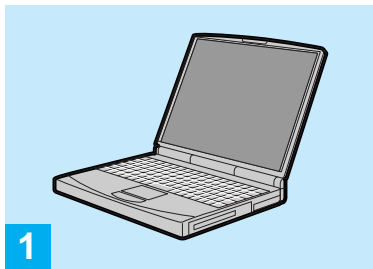
* Windows XP、Mac OS Xに対応。パソコン接続時に、本機に設定されている記録フォルダ内のデータのみをパソコンにコピーします。フォルダを選択するには**別冊応用編** ➡ 21ページの手順から行ってください。

パソコンとの通信について

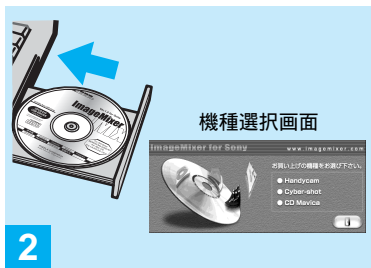
パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

USB端子がないパソコンをお使いの場合は

USB端子も“ メモリースティック ”スロットもないパソコンをお使いの場合は、アクセサリーを使うことにより画像を取り込めます。詳しくは、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di/

❶ USBドライバをインストールする 98 2000 98SE Me

➡ パソコンの電源を入れる

この時点では、本機をパソコンに接続しないでください。

- ここでは、Microsoft Windows Meの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。
- **パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。**
- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。

➡ 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。
機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイ コンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16 bitカラー、65 000色）以上にしてください。
800×600ドット未満、256色以下ではインストールの機種選択画面が表示されません。

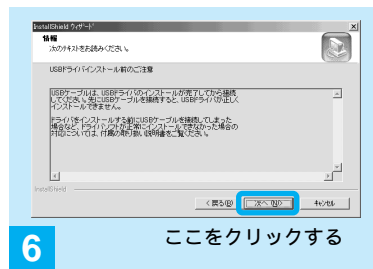
➡「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

インストールメニュー画面が表示されます。

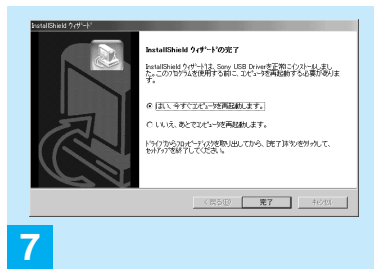
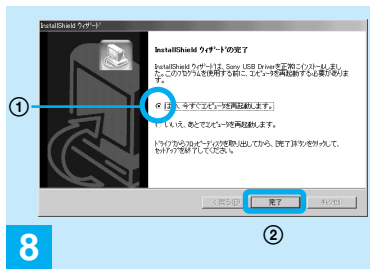
→「USB Driver」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

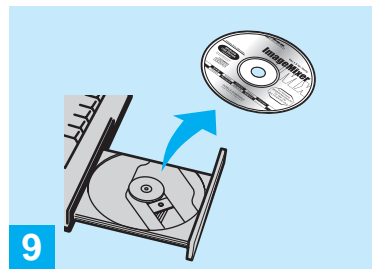
「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

→［次へ］をクリックする

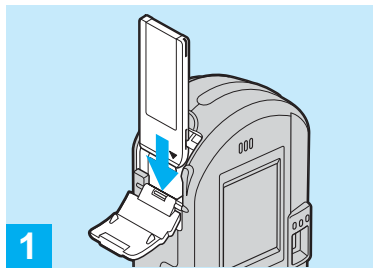
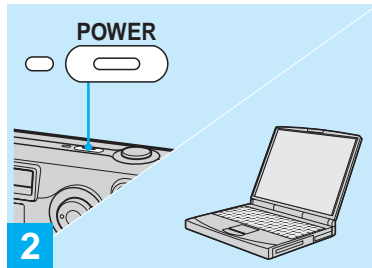
「情報」画面が表示されます。

→［次へ］をクリックする

USBドライバのインストールが始まります。

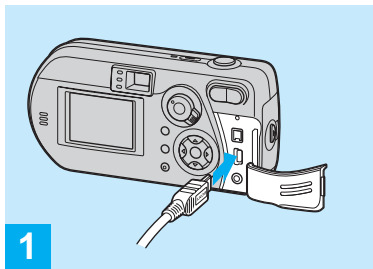
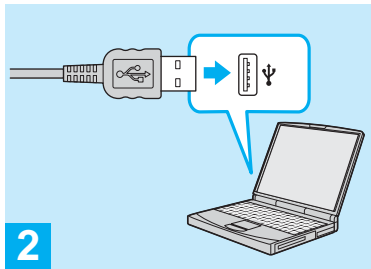
❶ USBドライバをインストールする（つづき）

➡ **インストールが終了すると「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示される**

➡ **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」の○をクリックして◉にし、［完了］をクリックする**

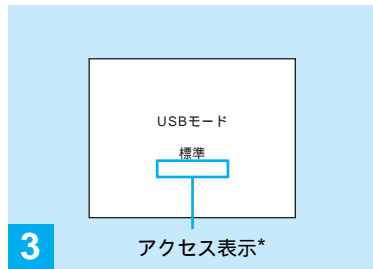
パソコンの電源が一度切れ、すぐに入ります（再起動）。

➡ **再起動後に、パソコンからCD-ROMを取り出す**

本機とパソコンでUSB接続ができるようになります。

❷ 本機とパソコンを準備する 98 2000 XP 98SE Me

→ 本機に画像を記録した“ メモリースティック ”を入れる

→ 本機とパソコンの電源を入れる

- 満充電されたニッケル水素電池またはACアダプター（別売り）をご使用ください。残量の少ない電池を使用して画像ファイルをコピーすると、電池切れのため、データを転送できない場合やデータ破損の原因になります。
- ACアダプターについては15ページをご覧ください。
- “ メモリースティック ”については、19ページをご覧ください。

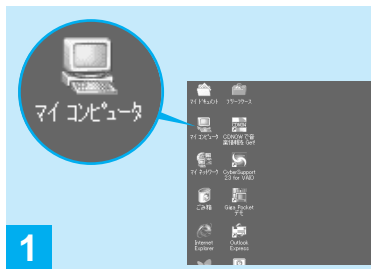
❸ USBケーブルで接続する 98 98SE 2000 Me XP

➡ **付属のUSBケーブルを ψ(USB) 端子につなぐ**

➡ **USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ**

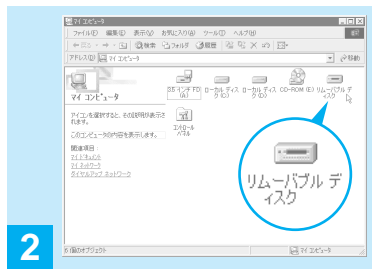
- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面にあるUSB端子のご使用をおすすめします。
- Windows XPをお使いの場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。50ページにお進みください。

本機の液晶画面に「USBモード 標準」と表示されます。

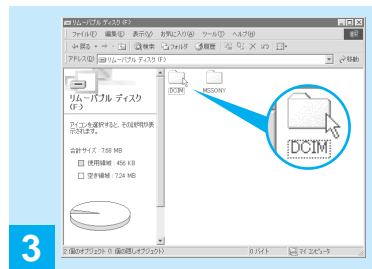
初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

* 通信中はアクセス表示が赤色になります。

- 手順3を終了しても「USBモード 標準」と表示されないときは、本機の「SET UP」の［USB接続］が［標準］になっているか確認してください（**別冊応用編** ➡ 71ページ）。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする 98 98SE 2000 Me （XP 50〜51ページ）

➡ ［マイ コンピュータ］をダブルクリックする

「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

➡ ［リムーバブル ディスク］をダブルクリックする

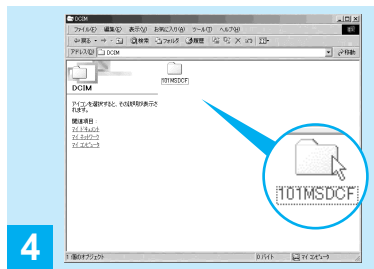
本機内の“ メモリースティック ”の内容が表示されます。

➡ ［DCIM］をダブルクリックする

新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダのみ表示されます。

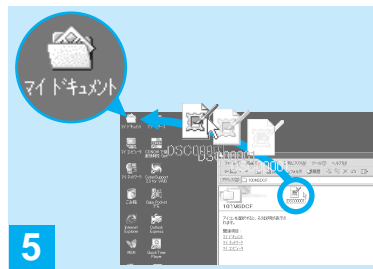
• ここでは、「マイドキュメント」というフォルダに画像をコピーします。

• リムーバブル ディスクが表示されていないときは、49ページをご覧ください。

④ 画像ファイルをパソコンにコピーする（つづき）

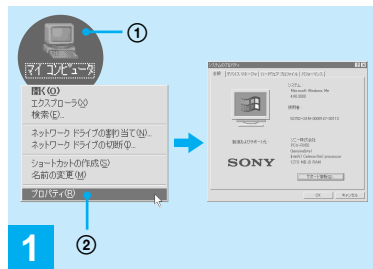
4

➡ 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする

フォルダの内容が表示されます。

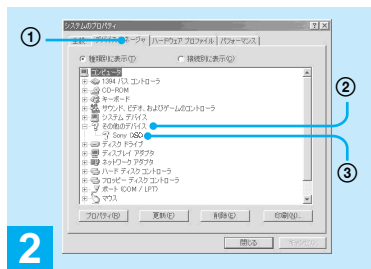
5

➡ 画像ファイルを「マイドキュメント」フォルダにドラッグ＆ドロップする

「マイドキュメント」フォルダに画像ファイルがコピーされます。

• コピー先に同じファイル名の画像があると、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のフォルダの内容は消えます。

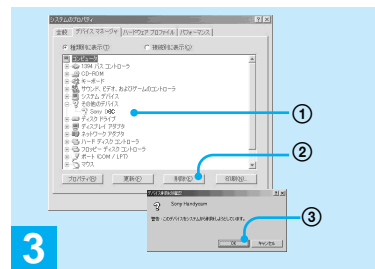
「リムーバブル ディスク」が表示されないときは

➡ [マイ コンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

• Windows 2000をお使いの方は、「システムのプロパティ」画面の [ハードウェア] タブをクリックしてください。

➡ 別のデバイスが表示されていないか確認する

① [デバイス マネージャ] をクリックする。

② [その他のデバイス] をダブルクリックする。

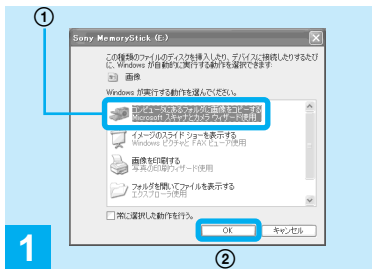
③“ ”マークの付いた「Sony DSC」がないか確認する。

➡ 表示されていたら削除する

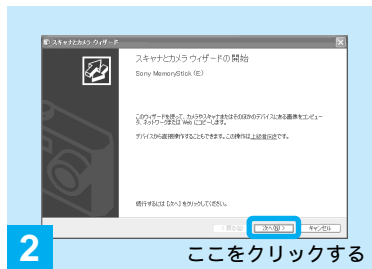
①「Sony DSC」をクリックする。
Windows 2000をお使いの場合、「Sony DSC」を右クリックしてください。

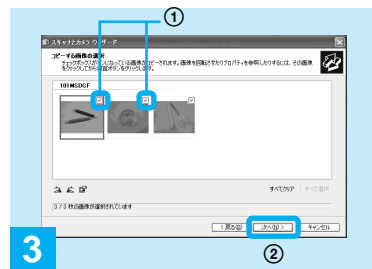
② [削除] をクリックする。
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

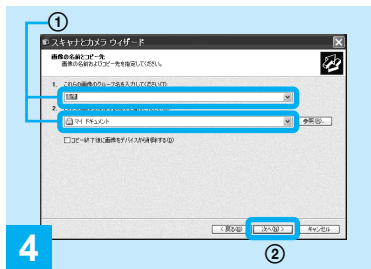
③ [OK] をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したあと、付属のCD-ROMのUSBドライバをインストールし直してください(42ページ)。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする XP

→ 46ページの手順でUSB接続を行うと、自動再生ウィザードが起動する。
［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。
Microsoftスキャナとカメラウィザード使用］をクリックし、［OK］をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの開始」画面が表示されます。

→ ［次へ］をクリックする

本機の“ メモリースティック ”に記録されている画像が表示されます。

→ パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、［次へ］をクリックする

「画像の名前とコピー先」画面が表示されます。

➡ 画像の名前とコピー先を指定し、[次へ] をクリックする

画像のコピーが始まります。コピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示されます。

• ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

➡ [作業を終了する] を選び、[次へ] をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの完了」画面が表示されます。

➡ [完了] をクリックする

ウィザード画面が閉じます。

• 続けて画像をコピーしたい場合は、52ページの❾の手順に従ってUSBケーブルを一度抜き差しして、手順❶から行ってください。

⑤ パソコンで画像を見る

USBケーブルを抜く、“メモリースティック”を取り出す、または本機の電源を切るときは

Windows 2000/Me/XP**をお使いの場合は**

1 タスクトレイの をダブルクリックする。

2 （Sony DSC）をクリックし、［停止］をクリックする。

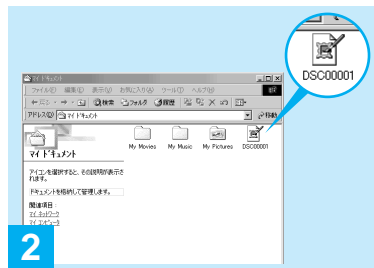
3 取りはずすドライブを確認して、［OK］をクリックする。

4 ［OK］をクリックする。
Windows XPをお使いの方は、手順4は不要です。

5 USBケーブルを抜く、または“メモリースティック”を取り出す、本機の電源を切る。

Windows 98/98SE**をお使いの場合は**
アクセス表示（46ページ）が白くなっていることを確認して、手順5のみ行ってください。

➡ **デスクトップ画面上の［マイドキュメント］をダブルクリックする**

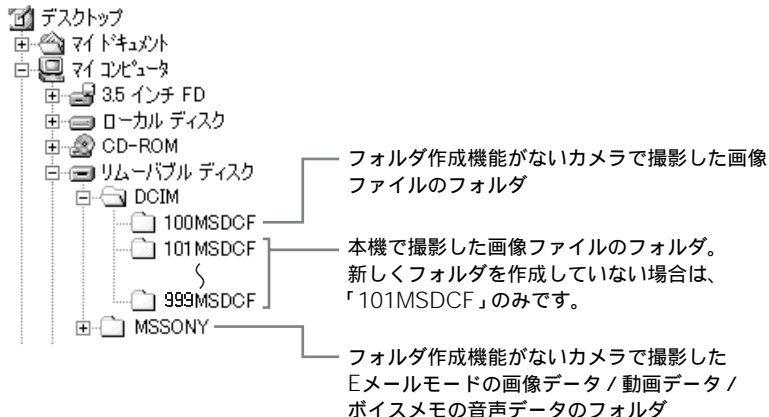
「マイドキュメント」フォルダの内容が表示されます。

➡ **見たい画像ファイルをダブルクリックする**

画像が開きます。

• 47、50ページで、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーした場合の説明です。
• Windows XPをお使いの場合は、［スタート］→［マイドキュメント］をクリックしてください。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“メモリースティック”内のフォルダにまとめられています。

Windows Meで見たときの例

- 「100MSDCF」または「MSSONY」フォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。

- フォルダについては、**別冊応用編** ➡ 21ページをご覧ください。

フォルダ名	ファイル名	ファイルの内容
101MSDCF ≀ 999MSDCF	DSC0□□□□.JPG	• 以下のモードで撮影した静止画ファイル －通常撮影モード（22ページ） －2枚連写モード（**別冊応用編**➡ 16ページ） • マルチ連写で撮影した画像ファイル（**別冊応用編** ➡ 15ページ） • 以下のモードで同時に撮影した静止画ファイル －Eメールモード（**別冊応用編** ➡ 16ページ） －ボイスメモモード（**別冊応用編**➡ 17ページ）
	DSC0□□□□.JPE	• Eメールモードで撮影した、通常よりサイズの小さい画像ファイル
	DSC0□□□□.MPG	• ボイスメモモードで撮影した音声つきファイル（**別冊応用編**➡ 17ページ）
	CLP0□□□□.GIF	• クリップモーションのノーマルモードで撮影した画像ファイル（**別冊応用編** ➡ 14ページ）
	CLP0□□□□.THM	• クリップモーションのノーマルモードで撮影したとき、同時に撮影されるインデックス画像ファイル
	MBL0□□□□.GIF	• クリップモーションのモバイルモードで撮影した画像ファイル（**別冊応用編** ➡ 14ページ）
	MBL0□□□□.THM	• クリップモーションのモバイルモードで撮影したとき、同時に撮影されるインデックス画像ファイル
	MOV0□□□□.MPG	• MPEGムービーモードで撮影した動画ファイル（**別冊応用編** ➡ 32ページ）

• □□□□には0001から9999までの数字が入ります。

• 下記のファイルの数字部分は同じになります。
 – Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイルとその画像ファイル
 – ボイスメモモードで撮影した音声ファイルとその画像ファイル
 – クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)をお使いの方は手順❷から操作してください。
ディスプレイの設定を800×600ドット以上、32 000色モード以上にしてください。

❶USBドライバをインストールする（Mac OS 8.5.1/8.6/9.0のみ）

1 パソコンの電源を入れる。
- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
機種選択画面が表示されます。

3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする。
インストールメニュー画面が表示されます。

4 表示された画面「USB Driver」をクリックする。
「USB Driver」画面が表示されます。

5 OSの入っているハードディスクアイコンをダブルクリックして、画面を開く。

6 手順4で開いたウィンドウから、下記の2つのファイルを、手順5で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動（ドラッグ＆ドロップ）する。
- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

7 確認のメッセージが表示されたら［OK］をクリックする。

8 パソコンを再起動し、CD-ROMを取り出す。

❷本機とパソコンを準備する

詳しくは、45ページをご覧ください。

❸USBケーブルで接続する

詳しくは、46ページをご覧ください。

USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または本機の電源を切るときは

"メモリースティック"またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてから、USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または本機の電源を切ってください。
- Mac OS X v10.0をお使いの場合は、パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

❹画像ファイルをパソコンにコピーする

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。
本機内の"メモリースティック"の内容が表示されます。

2 ［DCIM］をダブルクリックする。

3 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする。

4 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

❺ パソコンで画像を見る

1 ハードディスクアイコンをダブルクリックする。

2 画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックする。
画像が開きます。

Mac OS Xをお使いの方へ

Eメールモードの画像ファイルをクリックした際、「書類“ DSC0□□□□.JPE ”を開くことができるアプリケーションがありません」という画面が出たときは、以下の設定を行ってください。
バージョンによって、画面表示が異なることがあります。

1「書類“ DSC0□□□□.JPE ”を開くことができるアプリケーションがありません」画面の［アプリケーション選択］ボタンをクリックする。

2「表示」を［推奨アプリケーション］から［全アプリケーション］に変更する。

3 アプリケーションが一覧表示されている部分から、［QuickTime Player］を選択し、［開く］ボタンをクリックする。

索引

数字の前に「応」がついているページは別冊応用編のページです。

索引

アルファベット

電話のおかけ間違いにご注意ください。

お客様へのサポートをより充実させていくため、「カスタマーご登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ **カスタマーご登録およびご登録内容の変更：**
http://www.sony.co.jp/di-regi/
お問い合わせ：**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
電話：0466-38-1410
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

パソコンとの接続方法や最新サポート情報

デジタルイメージングカスタマーサポート
http://www.sony.co.jp/support-di/

ご使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話：　0564-62-4979
（電話のおかけ間違いにご注意ください。）
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の前に以下の内容をご用意ください。
①お客様のID
（カスタマーご登録していただくとIDが発行されます。）
②本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

修理申し込み

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合左記のテクニカルインフォメーションセンターへお電話ください。
お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいします。

3080877 01

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。